

ソーシャル・キャピタル概念のヘルスプロモーション活動への 導入に関する検討

ユアサ ムトユキ ニシダ ミサ ナカハラ トシタカ
湯浅 資之* 西田 美佐^{2*} 中原 俊隆^{3*}

今日、ネットワーク、制度あるいは信頼関係や規範といった社会的要素はソーシャル・キャピタル（SC）と呼ばれ、かかる現象の可視化と計測化が試みられてきている。多くの研究によってSCが蓄積されている地域では人々の協調行動が生じ易いことが分かってきているので、SCの視点からヘルスプロモーション（HP）活動における協調行動を促進させ、より効果的な介入を行うことができる。SC概念の理論的研究と実践経験の蓄積は、健康への多様な決定要因を協調行動によって改善しようとするヘルスプロモーション活動の有効性を高めることに大きく寄与するものと期待される。

Key words : ソーシャル・キャピタル, ヘルスプロモーション, 協調行動

* 国立国際医療センター国際医療協力局

^{2*} 国立国際医療センター研究所

^{3*} 京都大学大学院医学研究科健康政策・国際保健学
教室

連絡先：〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1
国立国際医療センター国際医療協力局派遣協力課
湯浅資之